

2

Uターンした方の声

Uターンの理由やタイミングは人それぞれ。学びや経験を積んだ後、どのような理由やタイミングで帰ってきたのか。そして、Uターンした後の生活はどうだったのか。実際に国東へUターンした方々の声をご紹介します。

転職を機にUターン



明石 健 さん

国東町出身の明石さんは、大分市内の建材店で働いていましたが、その仕事を続けていくイメージができず、9年前に国東にUターン。市内の企業で小ねぎ栽培の研修を受け、知人から紹介してもらった武蔵町の物件で独立することになりました。

「独立してからの3年間が一番大変でしたが、両親や妻が支えてくれて、乗り切ることが出来ました。最初はUターンに反対だった妻も、今では家族で過ごす時間が持てるようになったので、喜んでくれています」



子育てを機にUターン



高倉 京子 さん

安岐町出身の高倉さんは、別府市で看護師として働いていましたが、夫の浩太郎さんと結婚を機に福岡県に移住。浩太郎さんが働く場所を選ばない職業であることもあり、自然豊かな場所で子育てをしたいと物件を探していました。1年前、知人の紹介で国東町の旧庄屋の物件に出会い、一目ぼれしてUターンしたそうです。

「子どもが元気に庭を駆け回る姿を見ると、ここを選んで良かったと思います。もうすぐ家族が一人増えるので、国東の生活をもっと楽しみたいです」



Uターンを考える
きっかけ

- 家族の近くで暮らしたい
- 子育て環境を見直したい
- 地元で働きたい
- 経験を活かしたい
- 自然の近くで暮らしたい

家族の看護を機にUターン



本田 世奈 さん

国東町出身の本田さんは、大分市内の個人病院で看護師として働いていましたが、5年前に体調を崩した家族の看護のためにUターンしてきました。現在は看護師の資格を活かし、国東市民病院に勤務しています。前の病院と同じ外科病棟を担当しており、戸惑うことなく勤務できているとのこと。さらに、前の病院よりも福利厚生がしっかりしており、休みが増えたそうです。

「休日は、実家に住む姉家族の甥っ子と遊ぶことと、武蔵町に住む妹と旅行に行くことが、一番の楽しみになっています」



子育てを機にUターン



大塩 貴司 さん

国見町出身の大塩さんは、福岡県でIT系の仕事をしていました。子どもを故郷で育てたいと思い、12年前に家族で国見町にUターン。以前は前職の経験を生かせる仕事をしていましたが、1年前、子どもが中学生になったタイミングで、学校の送迎を優先し地元の建設会社に転職しました。

「親をはじめ、子どもの頃から知り合いの近所の方などの手厚いサポートのおかげで、子どもがすくすくと育っている姿を見ると、ここで子育てして良かったと思います」



Uターンのきっかけは、仕事・家族・暮らしなど、人それぞれ。大切なのは、「自分や家族にとって何を大事にしたいのか」です。